

ADOBE® READER® X

ユーザーガイド



法律上の注意

法律上の注意について詳しくは、http://help.adobe.com/ja_JP/legalnotices/index.html を参照してください。

目次

第 1 章：Adobe Reader X について

保護モード (Windows)	1
アドビからのメッセージ	1

第 2 章：Adobe Reader の機能

PDF の保存、表示および検索	3
フォームの入力	4
PDF への署名	4
証明書の管理 (保護された PDF)	4
文書の共有	5
PDF の作成	5
PDF から Word への変換	5
PDF ファイルに注釈を付ける	6
レビューへの参加	6
インクのオーバープリントのシミュレート	7

第 3 章：よくある質問への回答

PDF を開いて保存する	8
画像および 3D モデルの表示	8
印刷	9
注釈	9
フォームの入力	10
アクセシビリティ	10

第 4 章：UNIX プラットフォームでのサポート

第 1 章：Adobe Reader X について

Adobe® Reader® は、Adobe Acrobat® で作成された Adobe PDF を開いたり使用したりするためのツールです。Reader で PDF を作成することはできませんが、Reader を使用して PDF の表示、印刷および管理を行うことができます。Reader で PDF を開いた後は、様々なツールを利用して情報をすばやく見つけることができます。PDF フォームを受け取った場合は、それをオンラインで完成させて電子的に送信することができます。PDF をレビューする依頼を受け取った場合は、注釈ツールやマークアップツールを使用して注釈を付けます。PDF 内のビデオや音楽を再生するには、Reader のマルチメディアツールを使用します。PDF に機密情報が含まれている場合は、デジタル ID を使用して文書を署名したり証明したりすることができます。

詳しくは、以下を参照してください。

- 3 ページの「[Adobe Reader の機能](#)」
- 8 ページの「[よくある質問への回答](#)」
- 12 ページの「[UNIX プラットフォームでのサポート](#)」

保護モード (Windows)

デフォルトでは、Adobe Reader X は保護モードで実行し、セキュリティレイヤーが追加されています。保護モードでは、悪意のある PDF 文書は任意の実行可能ファイルを起動したり、システムディレクトリまたは Windows レジストリに書き込むことができません。詳しくは、[Introducing Adobe Reader protected mode](#) を参照してください。

保護モードのステータスを確認するには、ファイル／プロパティ／詳細設定／保護モードを選択します。

保護モードはデフォルトで有効になっています。保護モードをオフにするには：

- 1 編集／環境設定を選択します。
- 2 左側の分類リストで、「一般」を選択します。
- 3 「起動時に保護モードを有効にする」を選択解除します。

アドビからのメッセージ

一般環境設定には、プログラムで作業している間にアドビが製品内マーケティングメッセージを表示できるようにするためのオプションが含まれています。ユーザーはこれらの製品内マーケティングメッセージを受信するかどうかを指定します。

注意：アドビオンラインサービスを容易にするトランザクションメッセージはオフにできません。

- 1 環境設定ダイアログボックスを開きます。
 - (Windows) 編集／環境設定を選択します。
 - (Mac OS) Adobe Reader / 環境設定を選択します。
- 2 「分類」から「一般」をクリックします。
- 3 「アドビからのメッセージ」セクションで、必要に応じてオプションを選択します。

Reader の起動時にメッセージを表示 文書を開かずにアプリケーションを起動する場合に、アドビからのメッセージがスタートアップスクリーンに表示されるようにします。メッセージをクリックすると、機能、更新、オンラインサービス

に関する情報を取得したり、タスクパネルウィンドウなどのアプリケーションの要素を開くことができます。オプションの選択を解除すると、製品内マーケティングメッセージが表示されなくなります。

文書の表示中にメッセージを表示しない アドビからの製品内マーケティングメッセージがアプリケーションウィンドウの左下隅に表示されないようにします。メッセージを閉じるには、「閉じる」ボタンをクリックします。何もしない場合、メッセージは消えていきます。製品内マーケティングメッセージを許可するには、オプションの選択を解除したままにします。

第 2 章：Adobe Reader の機能

日常的な PDF タスクに対して Reader を使用方法を学びます。

PDF の保存、表示および検索

保存

PDF または PDF ポートフォリオのコピーを保存できるのは、PDF の作成者がその操作を許可している場合だけです。PDF の作成者は、ローカル保存機能を有効にすることにより、受信者が文書を保存するのを許可できます。多くの場合、PDF フォームの作成者はローカル保存機能を有効にしていません。

次のいずれかの操作を行います。

- PDF を保存するには、ファイル／上書き保存を選択します。
- PDF のコピーを作成するには、ファイル／名前を付けて保存／PDF を選択します。
- アクセシブルなテキストとして PDF を保存するには、ファイル／名前を付けて保存／テキストを選択します。

表示

ページを拡大したり縮小したりするには、Reader のツールバーにあるズームツール、倍率メニュー、またはフィットツールを使用します。ページの表示オプションを変更するには、表示／ページ表示メニューのオプションを使用します。

詳しくは、Acrobat ヘルプの [PDF ページのナビゲーション](#) を参照してください。

PDF 内の情報の検索

レイヤー、フォームフィールド、注釈、しおり、電子署名などの、ページコンテンツを検索するには、検索（編集／簡易検索）または検索ウィンドウ（編集／高度な検索）のいずれかを使用します。

PDF ポートフォリオの表示と検索

PDF ポートフォリオは、通常、形式が異なるファイルや異なるアプリケーションで作成されたファイルを含むファイルコレクションです。Reader の検索ツールを使用して、PDF ポートフォリオ全体でテキストを検索できます。PDF ポートフォリオのツールバーにある「検索」ボックスに、検索するテキストを入力します。検索結果には、検索テキストが見つかったすべてのファイルが表示されます。

- PDF ファイルの場合は、一覧を展開して検索結果をコンテキストで確認できます。検索結果をクリックし、PDF 内の対応する場所に移動します。
- 他の種類のファイルについては、「開く」をクリックしてファイルを検索します。

詳しくは、Acrobat ヘルプの [PDF ポートフォリオの検索](#) を参照してください。

フォームの入力

モバイルデバイスでも、フォームの入力、保存、電子的な送信を行うのは簡単です。最初に、手のひらツールまたは選択ツールを選択します。インタラクティブなフォームフィールドの上にポインターを置くと、ポインターのアイコンが次のいずれかに変わります。

- 人差し指ツールまたは人差し指とプラス記号ツール。ボタン、ラジオボタン、チェックボックス、またはリスト内の項目の上にポインターがあるときに表示されます。
- 選択ツール。リストから項目を選択できるときに表示されます。
- I 型ツール。フォームフィールドにテキストを入力できるときに表示されます。

次のフォームフィールドに移動するには、Tab キーを押します。入力内容を削除するには、Esc キーを押します。フォームの入力を終えたら、「フォームを送信」ボタンをクリックします。PDF の作成者がフォームのローカル保存機能を有効にしている場合は、ファイル/名前を付けて保存を選択することにより、ファイルの名前を変更して、入力した情報とともにフォームを送信せずに保存することもできます。

注意：フォームをより効率的に入力するには、環境設定ダイアログボックスで「フォーム」を選択し、「オートコンプリート」をオンにします。

詳しくは、Acrobat ヘルプの [PDF フォームの入力と送信](#) を参照してください。

PDF への署名

PDF に署名すると、送信者に対して PDF が目的の受信者に届いたことが保証されます。Reader では、Reader 使用権限が有効になっている PDF にのみ署名できます（Acrobat で、ファイル/名前を付けて保存/Reader 拡張機能が有効な PDF/追加機能を有効にするを選択します）。

- 1 ツール/電子署名/文書に署名を選択します。
- 2 手順に従い、署名の場所を作成して、「文書に署名」ダイアログボックスを完了します。

PDF に署名するにはデジタル ID が必要です。画面上的手順に、デジタル ID の作成方法が示されます。デジタル ID について詳しくは、[デジタル ID](#) を参照してください。

文書の表示や署名を静的かつ安全な状態で行うには、文書プレビュー機能を使用します。マルチメディアや JavaScript などの動的コンテンツはブロックされます。

詳しくは、Acrobat ヘルプの [文書プレビューモードでの署名](#) を参照してください。

証明書の管理（保護された PDF）

PDF の作成者は、電子署名を検証する代わりに証明書を使用して文書を暗号化できます。他のユーザーから受け取った証明書は、信頼済み証明書の一覧に保存されます。この一覧はアドレス帳のようなもので、受信した文書に含まれるユーザーの署名を検証できます。

詳しくは、Acrobat ヘルプの次の記事を参照してください。


- [他のユーザーからの証明書の取得](#)
- [証明書と連絡先の関連付け](#)
- [証明書情報の検証](#)
- [信頼済み証明書の削除](#)

文書の共有


Adobe Reader を使用して、文書を他のユーザーと共有できます。詳しくは、Acrobat ヘルプの [Adobe SendNow オンラインを使用したファイルの共有](#) および [電子メールによるファイルの共有](#) を参照してください。

PDF の作成

Acrobat.com 上の Web ベースサービスである Adobe CreatePDF を使用することにより、Reader から PDF を作成できます。

- 1 次のいずれかの手順に従って、PDF へのファイルの変換を開始します。
 - スタートアップスクリーンの「Acrobat.com サービス」で、「オンラインで PDF を作成」をクリックします。Adobe Reader を起動すると、最初にスタートアップスクリーンが表示されます。
 - 共有 / PDF ファイルを作成を選択します。
 - Reader ツールバーで PDF を作成アイコン  をクリックします。
- 2 「PDF に変換するファイルを選択」リンクをクリックし、変換するファイルを探します。
- 3 「変換」をクリックします。


Reader でファイルを変換したら、共有パネルに「完了」ボックスが表示されます。Acrobat.com の有料サブスクリプションをご利用の場合は、「Reader で PDF ファイルを表示」リンクをクリックして、Reader の新規ウィンドウで PDF を開くことができます。無料アカウントをご使用のユーザーは、Acrobat.com で自分の PDF を表示することができます。


 ツールバーの PDF を作成アイコンを表示または非表示にするには、表示 / 表示切り替え / ツールバー項目 / ファイル / PDF を作成を選択します。

CreatePDF サービスについて詳しくは、www.adobe.com/go/acrobat_com_jp を参照してください。

PDF から Word への変換

Acrobat.com 上の Web ベースサービスである Adobe ExportPDF（英語のみ）を使用することにより、PDF を Microsoft Word に変換できます。

- 1 次のいずれかの手順に従って、変換を開始します。
 - スタートアップスクリーンの「Acrobat.com サービス」で、「PDF を Word にオンラインで変換」をクリックします。Adobe Reader を起動すると、最初にスタートアップスクリーンが表示されます。
 - ファイル / 名前を付けて保存 / Word オンライン処理を選択します。（Mac OS では、最初に PDF を開く必要があります）。
 - Reader ツールバーで、PDF を Word にオンラインで変換アイコン  をクリックします。
- 2 Acrobat.com で画面の指示に従って、PDF を選択し、Word に変換します。

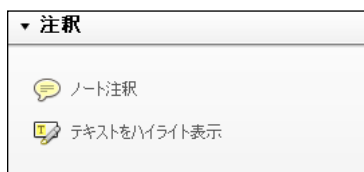
 ツールバーの PDF を作成アイコンを表示または非表示にするには、表示 / 表示切り替え / ツールバー項目 / ファイル / PDF を Word にオンラインで変換を選択します。

ExportPDF サービスについて詳しくは、www.adobe.com/go/acrobat_com_jp を参照してください。

PDF ファイルに注釈を付ける

Reader を使用して、PDF ファイルに注釈を付けることができます。デフォルトでは、ノート注釈ツールおよびハイライトツールが使用できます。Reader では、Reader 使用権限が有効になっている PDF でのみすべての注釈および描画マークアップツールを使用できます (Acrobat で、ファイル/名前を付けて保存 / Reader 拡張機能が有効な PDF / 追加機能を有効にするを選択します)。

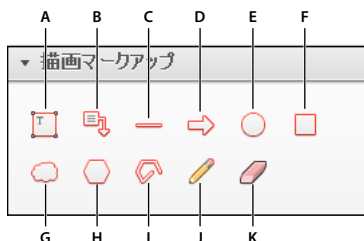
詳しくは、Acrobat ヘルプの[注釈](#)を参照してください。Reader の注釈に関するクイックビデオについては、「[How to Add Comments in Adobe Reader](#)」を参照してください。



ノート注釈ツールおよびハイライトツール

レビューへの参加

レビュー対象の PDF を受け取ったら、注釈ツールやマークアップツールを使用して、その PDF に注釈を付けることができます。これらの機能は、PDF の作成者が注釈を有効にしている場合のみ使用できます。作成者にコメントを返信する場合も、注釈ツールやマークアップツールを使用します。



描画マークアップパネル

A. テキストボックスを追加 B. 引き出し線付きテキストボックスを追加 C. 線を描画 D. 矢印を描画 E. 楕円形を描画 F. 長方形を描画 G. 雲型を描画 H. 多角形を描画 I. 折れ線を描画 J. フリーハンドの線を描画 K. フリーハンドの線を消去

注釈への返信

注釈への返信には 2 通りの方法があります。

- ポップアップノートを開いて、「オプション」メニューから「返信」を選択します。
- 注釈のリストで、注釈を選択して、「オプション」メニューから「返信」を選択します。

返信を削除するには、返信を右クリックして、「削除」をクリックします。

詳しくは、Acrobat ヘルプの[注釈への返信](#)を参照してください。

PDF の承認または却下

PDF の承認を求められた場合は、PDF をレビューするための手順が記載された電子メールメッセージを受け取ります。また、PDF の上部にはスタンプパレットと文書メッセージバーも表示されます。それらの手順とツールを使用して、文書を承認または却下します。

注意：承認プロセスを開始することができるのは、Acrobat のマルチバイトバージョンを使用するユーザーのみです。承認依頼を受け取った Reader のユーザーは、使用している言語バージョンに関わらず、PDF を承認または却下することができます。

詳しくは、Acrobat ヘルプの[承認プロセスへの参加](#)を参照してください。

レビューのトラッキング

文書のレビューをトラックしたり、レビューのステータスを表示したりするには、表示/トラッカーを選択します。トラッカーには、レビューの参加者の名前や、それぞれの人が公開している注釈の数が表示されます。

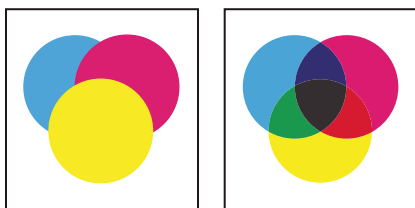
- トラッカーの左側には、管理機能付きのレビューのすべての PDF 文書が表示されます。
- 右側の情報パネルウィンドウには、PDF の送信日時と依頼されたレビュー担当者が一覧表示されます。共有 PDF へのリンクの他に、期限（設定されている場合）、レビュー担当者ごとの送信済み注釈数など、追加の情報が提供されます。トラッカーで PDF ファイルへのリンクを削除しても、PDF ファイルそのものが削除されるわけではありません。
- 「最新の更新」には、レビューに対する最新の変更内容がまとめられています。

詳しくは、Acrobat ヘルプの[レビューした PDF のトラック](#)を参照してください。

インクのオーバープリントのシミュレート

オーバープリントシミュレーションでは、オフセット印刷機で印刷する際に、カラーアートワークのブレンドとオーバープリントがどのように印刷されるかをシミュレートします。印刷の詳細設定ダイアログボックスの「オーバープリントをシミュレート」を選択して、カラーデスクトッププリンターのオーバープリントの効果をシミュレートできます。オーバープリントシミュレーションでは、特色が印刷用のプロセスカラーに変換されます。最終出力用のファイルを使用する場合は、「オーバープリントをシミュレート」を選択しないでください。

注意：カラープリンターによってカラーの再現品質が異なります。印刷・出力会社による校正刷りは、最終出力がどのように印刷されるかを確認するために最も信頼のおける方法です。



オーバープリントを使用していない3つの重なり合った円（左）とオーバープリントを使用した3つの重なり合った円（右）の比較

第3章：よくある質問への回答

PDF を開いて保存する

その他のトラブルシューティングのヒントについては、次のテクニカルノートを参照してください。

- [PDF を開けない \(英語\)](#)
- [ブラウザで PDF を表示できない \(英語\)](#)

PDF を開けない

パスワードで保護された PDF を受け取った場合は、指定されたパスワードを使用して文書を開きます。保護された文書によっては、文書のコンテンツの印刷、編集またはコピーができないように制限されている場合があります。Reader では、文書の機能が制限されている場合、その機能に関連するツールやメニュー項目はグレーで表示されます。

PDF を開くことができない場合、または制限により特定の機能を使用できない場合は、PDF の作成者に問い合わせてください。

PDF を開くときにエラーメッセージが表示される

「無効になっている Adobe PDF 拡張機能があります。」というメッセージが表示される場合は、次の手順を使用して問題を解決してください。

- 1 コントロールパネルの「インターネットオプション」を開き、「詳細設定」タブをクリックします。
- 2 「サードパーティ製のブラウザ拡張を有効にする」チェックボックスをオンにします。
- 3 「OK」をクリックし、コンピューターを再起動します。

PDF を保存できない

PDF または PDF ポートフォリオのコピーを保存できるのは、PDF の作成者がその操作を許可している場合だけです。PDF の作成者は、ローカル保存機能を有効にすることにより、受信者が文書を保存するのを許可できます。多くの場合、PDF フォームの作成者はローカル保存機能を有効にしていません。

画像および 3D モデルの表示

PDF からピクチャをコピーする方法

PDF からピクチャをコピーするには、スナップショットツールを使用します。

- 1 編集/スナップショットを選択します。
- 2 保存する画像を囲むように長方形をドラッグして、マウスボタンを放します。

選択範囲が自動的にクリップボードにコピーされ、別のアプリケーションで編集/貼り付けを選択することにより、コピーされた画像を別の文書に貼り付けることができます。

PDF の画像が表示されない

環境設定ダイアログボックスで、「ページ表示」を選択し、「データ量の多い画像を表示」を選択します。

3D モデルを移動または回転する方法

3D モデルをクリックすると、3D ツールバーが表示されます。回転ツールの横の矢印をクリックして、Reader で使用できるすべての 3D ナビゲーションツールを表示します。

印刷

基本の印刷処理のヒントについては、[印刷のヒント \(Acrobat/Adobe Reader\)](#) を参照してください。

文書を印刷できない

- パスワードで保護された PDF を受け取った場合は、指定されたパスワードを入力して文書を印刷します。保護された文書によっては、文書のコンテンツの印刷、編集またはコピーができないように制限されている場合があります。文書の印刷が制限されている場合は、作成者にお問い合わせください。
- 文書を印刷している間は、保護モードを無効にしてみてください (Windows のみ)。編集/環境設定を選択します。左側の「一般」をクリックし、「起動時に保護モードを有効にする」を選択解除します。Reader を閉じます。Reader を再起動した後、文書をもう一度印刷してみてください。

重要: アドビでは、保護モードを無効にすることをお勧めしません。印刷を完了したら、「一般環境設定」に戻り、「起動時に保護モードを有効にする」を選択してください。

大きなサイズの PDF を印刷する方法

プリンターでサポートされている標準の用紙サイズより大きな文書の場合、「ページの拡大/縮小」(印刷ダイアログボックス) で、「大きいページを分割」または「すべてのページを分割」のいずれかを選択します。詳しくは、[ポスターとパナーの印刷 | Acrobat, Reader \(英語\)](#) を参照してください。

注釈

PDF への注釈の追加

デフォルトでは Reader を使用して、PDF にノート注釈とハイライトテキストを追加することができます。権限が有効になっている PDF およびレビュー中の PDF の場合、他の注釈および描画マークアップツールが使用できます。

予期しないシャットダウンによって失われた変更内容の復元

自動保存の機能により、予期しない中断の後に変更内容が失われるのを防ぐことができます。

- 1 予期しないシャットダウンの前に作業していたファイルを開きます。
- 2 メッセージが表示されたら「はい」をクリックして、自動的に保存されたファイルを開きます。複数のファイルを開いていた場合は、Reader によってそのすべてのファイルが開かれます。

3 作業していた元のファイルと同じ名前でファイルを保存します。

自動保存が無効になっていた場合は、環境設定ダイアログボックスでその機能を再開することができます。左側で「文書」を選択し、「文書の変更を一時ファイルに自動保存する間隔」をオンにします。「分」ボックスに、ファイルを保存する間隔を指定します。

レビュー注釈を削除する方法

返信のある注釈を削除すると、注釈だけが削除されます。最初の返信がスレッドの一番上になります。これらの返信を表示するのは困難なことがあります。返信を削除するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ポップアップノートで、削除する返信を右クリックして、「削除」を選択します。
- 注釈のリストで削除する返信を選択して、「オプション」メニューから「削除」を選択します。

フォームの入力

入力したフォームを保存できない

入力済みのフォームは、その作成者が許可していない限り保存できません。Adobe Reader でフォームを開くと、そのフォームの上の通知領域に使用権限が表示されます。使用権限を変更するには、フォームの作成者に問い合わせてください。

オートコンプリートから項目を削除する方法

環境設定ダイアログボックスで、左側から「フォーム」を選択します。「オートコンプリート」セクションで、「入力データ候補一覧を編集」を選択し、不要な語句を削除したり変更したりします。

アクセシビリティ

キーボード操作によるマウス操作の代用について

Reader と Acrobat のキーボードショートカットキーは同じです。完全なリストについては、Acrobat ヘルプの[ショートカットキー](#)を参照してください。

スクリーンリーダーや拡大鏡による PDF の表示

「アクセシビリティ設定アシスタント」を使用して、拡大鏡またはスクリーンリーダーのいずれかを Reader に設定します。

- 編集／アクセシビリティ／設定アシスタントを選択して、設定アシスタントの各画面で必要なオプションを選択します。

PDF でテキストを折り返して表示する方法

文書パネルウィンドウの幅に合わせて、テキストが 1 列に収まるように、PDF を一時的に折り返して表示します。この折り返し表示により、文書が読みやすくなります。

- テキストを折り返し表示するには、表示／ズーム／折り返しを選択します。

ほとんどの場合、折り返し表示には読み上げ可能なテキストだけが表示されます。フォーム、注釈、電子署名フィールド、およびページ装飾（ページ番号、ヘッダー、フッターなど）は、折り返し表示されないテキストです。読み上げ可能なテキストとフォームフィールドまたは電子署名フィールドが同じページに含まれる場合、そのページは折り返し表示されません。縦組みのテキストも折り返し表示では横書きになります。

詳しくは、Acrobat ヘルプの[折り返しおよびアクセシビリティ機能を使用した PDF の読み上げ](#)を参照してください。

注意：折り返し表示をしている間は、文書の保存、編集、印刷はできません。

第4章：UNIXプラットフォームでのサポート

Reader は Linux や Solaris でも使用できますが、いくつかの違いがあります。リアルタイムコラボレーションとファイル共有、オンライン会議でのコラボレーション、システムトレイでの注釈の通知、地図情報ツールなど、一部の機能は利用できません。ただし、UNIX 版の Reader には、次のようないくつかの機能が追加されています。

- 同じ Reader ウィンドウ内で複数のタブを使用して、それらの間を移動することにより、複数の文書を表示できます。タブは、同じ Reader ウィンドウ内の別の場所や、別の Reader ウィンドウにドラッグすることにより、切り離したり再配置したりすることができます。タブを使用しないモードへの切り替えなど、タブの設定を編集するには、編集/環境設定/文書を選択します。
- 開いている PDF を別のバージョンに置き換えるには、ファイル/再読み込みを選択します。例えば、PDF を開いているときに、その PDF が外部アプリケーションで変更された場合は、「再読み込み」コマンドによって現在の PDF が閉じて更新済みのバージョンが開きます。PDF を開いているときに、その PDF を変更した場合は、「再読み込み」によってその変更を保存したり破棄したりして、前のバージョンに戻すことができます。
- Reader の man ページを表示するには、「man acroread」を使用します。すべてのコマンドラインオプションの一覧を表示するには、コマンドラインで `acroread -help` を実行します。